



横島小学校だより No.38 『考動』

※子どもたちが考えた造語「自分で考えて動く」意

【新型コロナウイルス！】

新型コロナウイルスが、猛威を振るっています。緊急事態宣言が多くの都府県で出され、熊本県でも独自の緊急事態宣言が出されました。現在は、熊本市と県南が中心ですが、県北でもじわじわと増加してきています。

学校では、感染対策を徹底し、教育活動を粛々と行っていきます。子供さんの体調管理については、家庭の協力をよろしくお願いします。

それでは、中旬の教育活動を紹介します。

1 縄跳び大会！



1月20日(水) 3・4年生、1・6年生、2・5年生に分かれ縄跳び大会をしました。



お互いにペアを組み、数えあったり、長縄跳びを行ったりしていました。



6年生は、模範演技をしてくれました。

2 花の苗植え！



1月21日(木) 5年生は、「米作りを通して

学ぶ人とのつながり」の授業で、発展的にプロジェクトが計画されています。その一環で、今日は、教頭先生に教えていただきながら、花の苗を植えました。どんなプロジェクトになっていくのか楽しみです。

3 保護者からの声！

- どの班も気持ちよくあいさつしてくれた。
- 声をかけると、素直に行動して安全に登校できていた。
・7:30には全員登校できていたが、あと10分ほど集合時刻を遅らせてもいいのかなと思った。
- 寒い中だったが元気にあいさつしてくれる子もいてうれしかった。
特に低学年の子が元気いっぱい気持ちの良いあいさつだった。
- 今朝は気温も低くとても寒かったが、子どもたちのあいさつはとても大きな声でよかった。
○どの班も割と一列に並んで安全に登校できていた。
- こちらからあいさつする前に子どもの方からあいさつしてくれた。
寒い中、大きな声で言ってくれる子もいれば、小さな声であいさつしてくれる子もいた。
- 寒い朝だったが、皆元気に登校できていた。
○△あいさつは元気よくしてくれる子もいれば、元気がない子もいて性格が出ていたように思う。
- あいさつは元気よくできていてよかった。
▲1人だけ遅れて、かなり離れて登校していて心配になった。
- △遠くから大きな声であいさつする子もいれば、小さい子もいて差が激しかった。
○停まってくれた車へは、深々と頭を下げてお礼ができていた。

18日(月)登校指導の「保護者からの声」です。子供達の頑張りが見えます。家庭や地域での声かけやご指導大変ありがとうございます。

子供達の中には、大きな声を出そうとしてもどうしても出ない子供達もいます。または、調子が悪くて出せない子、性格的に出せない子もいます。そんな時は、相手を見て軽く会釈でもいいんだよ。と伝えています。

以前は、まったく声を出せなかった子供達が、最近では気持ちの良いあいさつができるようになった子供達も増えています。

元気の良いあいさつももちろん素晴らしいですが、小さい声でも会釈だけのあいさつでもいいので、相手に気持ちが伝わる自然なあいさつや気持ちの良いあいさつができるようになってくれるのを願っています。

※ ホームページもご覧ください。